日本建設機械化協会
J．C．M．A．

建設の機械化

1988 年 3 月号 No. 457

＊瀬戸大橋完成特集＊

◀表紙写真説明▶

住友 全油圧式クローラクレーン
LS-120 RH-5

住友建機株式会社

本機は，高所作業，重量物荷役作業などの迅速化，省力化を推し進めるため開発された，60 t クレーンであり，次のような特長を有する。

① ツイン DM システムにより，主巻・補巻は独立操作で複合動作も容易にできる。

② 高低2速の切換えをはじめ，微速操作用のポンプコントロールスイッチにより主・補巻の4速切換えが1本のレバーで容易にできる。さらに省エネ回路を加えた EFC システムがすぐれたインチング性能と幅広い作業スピードを可能。

③ 斬新なデザインのボディ設計と快適な運転操作ができる作業空間を確保したニューキャブ。

④ 入念な騒音対策によるクラスきっての低騒音。

≪主な仕様≫

※ リンクシューの場合

最大つり上荷重	60 t×4.0 m
基本ブーム長さ	12.19 m
最長ブーム長さ	54.86 m
ジブ長さ	9.10～18.30 m
ブーム+ジブ	42.67+18.30 m
エキステンションブーム	3.05 m 6.10m 9.14 m
ショートジブ（オプション）	48.77 m まで装着可（最大荷重 6.5 t）
旋回速度	2.8 rpm
走行速度	※ 1.7/1.0 km/hr
エンジン型式	日野 HO 6 CT ディーゼルエンジン
定格出力	150 PS/2,100 rpm
登坂能力	30%（約 17°）
全装備重量（標準ブーム付）	58.5 t
接地圧（760 mm シュー付）	0.67 kg/cm²

目　次

◆巻頭言　瀬戸大橋の開通を迎えて ……布施洋一／1

◆瀬戸大橋完成特集

児島・坂出ルートの計画から完成まで ……藤井秀夫／3

児島・坂出ルート海峡部下部工工事の特徴 ……山本紀夫／11

児島・坂出ルート海峡部上部工工事の特徴 ……金沢克義／18

グラビヤ——21 世紀に架ける瀬戸大橋

児島・坂出ルート海峡部工事に使用された主な施工機械 ……久保田良司／25

本四連絡橋で開発された各種の技術 ……神弘夫／38

◆随　想　本四橋の完成に思う ……松崎彬麿／46

自律走行式床作業ロボットの開発 ……汐川孝／48

エレクトロニクス利用による海洋情報処理システム ……神崎正・古川圭三・酒井雅史／53

昭和 62 年度建設機械施工技術者試験合格者の発表について ……関本博／58

◆'87 建設機械の現状

12．原動機など

12.1 ディーゼル機関 ……和田克己／63

12.2 小型内燃機関 ……山田恒義・寺井優弘／68

12.3 油圧駆動装置 ……伊藤容之／70

◆新工法紹介

タイル外壁剝離検知システム／壁面診断ロボット ……調査部会／73

◆新機種ニュース ……調査部会／75

◆文献調査

メンテナンス管理システムによる費用の節約／ヘリコプターによる調査 ……文献調査委員会／79

◆ISO 規格紹介

土工機械に関する ISO 規格（29） ……ISO 部会／81

◆整備技術

新しい診断・再生技術（第 14 回）足回り再生 ……整備部会／84

◆統　計

建設工事受注額・建設機械受注額の推移 ……調査部会／89

行事一覧 ……／90

編集後記 ……（後藤・加藤・福来）／92